

キャラクター名  
七夕 碧

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハイロウ	ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	高校生
	モルフェウス				
オプション	ノイマン	年齢	16	性別	女
覚醒	償い	衝動	自傷	初期侵食率	34 %
出自	名家の生まれ	経験	大失態	邂逅	恩人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	23
肉体	1	0	0			1	行動値	19
感覚	5	1	3			9	(非装備時)	19
精神	1	0	0			1	戦闘移動	24
社会	1	0	0			1	全力移動	48

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	4		RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	3	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
拳銃	射撃	9r+3		3		
ハンドレッドガンズ	射撃	9r+4		LV+4		
フルオートショット100未満	射撃	8r+3		14		装甲無視 侵食10
フルオートショット100未満	射撃	8r+3		17		装甲無視 侵食10

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
強化服		1			

所持品	
コネ: UGN幹部	

合計装甲: 1    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリス	消費
父親	P 尽力	N 疎外感		
ジャーム	P 同情	N 劣等感		
テレーズ・ブルム	P 好奇心	N 嫉妬		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンソレイト	2	2	Xジャー					
効果: C値-LV(下限値7)								
小さき塵	3	2	Xジャー			対決		
効果: 攻撃力+[LV*2]								
ハンドレッドガンズ	1	3	マイナー	至近	自身	自動		
効果: 武器参考								
ベネトレイト	1	3	Xジャー			対決		
効果: 装甲無視    タリス-1								
マルチウェポン	1	3						
効果: ふたつの武器を合計								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

着物業の街を造った名家 七夕家の一人娘。歳の離れた兄がいる

彼女の家族は仲が良かった。両親はいわゆる家同士の結婚だったが真実愛し合っていたし歳がいつからできた一人娘は愛情たっぷり育てられていた。彼女の家族にはオーヴァードはいなかったが家族を守るために父は護衛としてオーヴァードを雇っており家族の側にいて当たり前存在だった。彼女が5歳になったとき突然彼女の能力が覚醒した。我儘に育ってきた彼女のいつもの癪癪、のはずだった。彼女のはじめての能力の暴発は側において彼女を慰めていた母親に直撃した。命に別状こそなかったが美しかった顔は爛れ目はほとんど見えなくなり足も満足に動かすことは出来なくなりました。

彼女はすぐにUGNに預けられた。これまで彼女の父親自身も知らなかったことだが彼はオーヴァードは異物であり家族という自分の枠組みの中にそれがいることを受け入れられなかったのだ。以来彼女は父親から家族と遠ざけられている。彼女自身も自分は家族の元に戻るべきではないと思っているし兄や母からの電話や手紙も一切応じていない。

任務を任せられるようになってから彼女は自爆に近い特攻を仕掛けては傷を負っていた。まるで傷を受けること、それが贖罪になるかのように。それはFHの支部の一つの殲滅作戦中、彼女は深傷を負って動けなくなってしまった時のこと。彼女を助けて手当てしてくれたのはテレーズ・ブルムだった。

彼女の目が覚めると同時にテレーズ・ブルムはひどく叱責した。

あなたが傷を負ったところで家族の傷が癒えるわけではない、それより多くのHFの計画を阻止し社会を守ることの方がよほど価値がある。それがあなたの家族を守ることにつながるのだから。あなたの命がいらないなら私のために使って、と。